RICOH TotalFlow
Report Operating Manager - Extension-R01 1.0.8

README

Copyright RICOH JAPAN Corporation. 2004, 2026, All rights reserved.

このたびは，本製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
ご使用の前に，下記，取扱説明書と合わせて必ずお読みください。
・RICOH TotalFlow Report Operating Manager 取扱説明書（解説編）
・RICOH TotalFlow Report Operating Manager 取扱説明書（操作編）

本書は改良のため，予告なしに変更する事があります。

他社所有名称に対する表示
・Microsoft, Windows, Windows Server, SQL Serverは，米国
Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
・VMware, VMware vCenter Server, VMware Cloudは米国およびその他の地域における
Broadcom Inc.またはその関連会社の登録商標または商標です。
・Amazon Web Services, AWSおよびAmazon Correttoは，米国その他の諸国における
Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。
・Adobe, PostScriptは，Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国および
その他の国における登録商標または商標です。
・SVF, SVFX-Designer, Universal Connect, Report Director Enterprise, RDE, EURは，
ウイングアーク１ｓｔ株式会社の登録商標です。
・日立製作所，uCosminexusは，株式会社日立製作所の登録商標です。
・活文は，株式会社日立ソリューションズの登録商標です。
・RICOH, TotalFlow, RPCSは，株式会社リコーの登録商標です。
・ESC/Pは，セイコーエプソン株式会社の商標です。
・インテル，Intel，Pentium，Xeonは，アメリカ合衆国またはそのほかの国における
Intel Corporationの商標です。
・OracleとJavaは，Oracle Corporation 及びその子会社，関連会社の米国及び
その他の国における登録商標です。文中の社名，商品名等は各社の商標または
登録商標である場合があります。
・InstallShieldは，InstallShield Software Corporationの登録商標です。
・その他，記載されている製品名，会社名は，各社の登録商標もしくは商標です。

略称説明，記憶容量の表記については各種取扱説明書の「はじめに」をご覧ください。

記載項目
1. 動作環境
2. 前提プログラム/関連プログラム
3. 機能追加内容
4. 修正内容
5. インストール/アンインストール/セットアップについて
6. 注意事項および制限事項
7. 本バージョンへのバージョンアップについて
8. オープンソースライセンスについて

---

1. 動作環境

・負荷分散オプションの動作環境については
「RICOH TotalFlow Report Operating Manager 取扱説明書（解説編）」の
「付録B 動作環境」および「付録C ディスク/メモリ使用量」を参照してください。

---

2. 前提プログラム/関連プログラム

・TotalFlow-RO Base 1.0.8 以降
・その他，負荷分散オプションと連携するための前提プログラムおよび関連プログラムにつきましては，
「RICOH TotalFlow Report Operating Manager 取扱説明書（解説編）」の
「付録B 動作環境」を参照してください。

---

3. 機能追加内容

3.1 1.0.8での機能追加内容
(1)TotalFlow Report Operating Manager Base-R01 1.0.8に対応しました。
(2)Amazon Corretto 21での連携に対応しました。
(3)負荷分散オプションのインストール時に配置される負荷分散オプションの初期設定パラメタファイルにある[SVF]セクションのSVF_JAVA_OPTエントリの初期値として，Java 17以前と同等のOS 依存の互換モードで動作する「-Dfile.encoding=COMPAT」を追加しました。
(4) Javaプログラムのログ出力に使用しているOSS(Apache Log4j)を[2.26.0]にバージョンアップしました。
(5) データの圧縮/伸張に使用しているOSS(zlib)を[1.3.2]にバージョンアップしました。

3.2 1.0.7での機能追加内容
(1)TotalFlow Report Operating Manager Base-R01 1.0.7に対応しました。
(2)Java Runtime Environment 21での連携に対応しました。

3.3 1.0.6での機能追加内容
(1)TotalFlow Report Operating Manager Base-R01 1.0.6に対応しました。
(2)Java Runtime Environment 17での連携に対応しました。
(3)Amazon Web Services(AWS)環境での動作に対応しました。
(4)Javaプログラムのログ出力に使用しているOSS(Apache Log4j)を[2.17.2]にバージョンアップしました。
(5)データの圧縮/伸張に使用しているOSS(zlib)を[1.2.12]にバージョンアップしました。

3.4 1.0.5での機能追加内容
(1)TotalFlow Report Operating Manager Base-R01 1.0.5に対応しました。

3.5 1.0.4での機能追加内容
(1)TotalFlow Report Operating Manager Base-R01 1.0.4に対応しました。
(2)Java Runtime Environment 11での連携に対応しました。
(3)Java 64bit版(JRE 1.8以降)での連携に対応しました。

3.6 1.0.3での機能追加内容
(1)TotalFlow Report Operating Manager Base-R01 1.0.3に対応しました。
(2)Java Runtime Environment 1.8での連携に対応しました。
(3)EURとの変換時にファイル出力待ちとなる際，
出力待ちのタイムアウト処理を行うように対応しました。

3.7 1.0.2での機能追加内容
(1)TotalFlow Report Operating Manager Base-R01 1.0.2に対応しました。
(2)オープン帳票でRPCS形式の帳票出力ができるように対応しました。
(3)インストール時，ROログ採取ツールを同時にインストールするように対応しました。
(4)帳票変換アプリケーションがEURの場合に，変換マシンでの多重実行に
対応しました。
(5)新規インストール時，初期設定パラメタファイルに，[OTHER_連番]セクションと，
各種エントリが初期設定されるように対応しました。

3.8 1.0.1での機能追加内容
(1)TotalFlow Report Operating Manager Base-R01 1.0.1に対応しました。
(2)システムディレクトリへのMFC，およびC/C++ランタイム用
ライブラリのインストールを廃止しました。

---

4. 修正内容

4.1 1.0.8での修正内容
当該事項なし。

4.2 1.0.7での修正内容
(1) インストール時に意図しないアプリケーションやDLLを実行されないように，アプリケーションの実行およびDLL読み込み時のパスの指定を修正しました。

4.3 1.0.6での修正内容
当該事項なし。

4.4 1.0.5での修正内容
当該事項なし。

4.5 1.0.4での修正内容
　当該事項なし。

4.6 1.0.3での修正内容
　当該事項なし。

4.7 1.0.2での修正内容
　当該事項なし。

4.8 1.0.1での修正内容
 (1)インストール時，インストール先の選択の画面にて，『戻る』ボタンを
　　押下しても前の画面に戻らない不具合を修正しました。

---

5. インストール/アンインストール/セットアップについて
 ・負荷分散オプションのセットアップにつきましては，
　「RICOH TotalFlow Report Operating Manager 取扱説明書（解説編）」の
　「2.2 「負荷分散オプション」のインストールと設定」を参照してください。

---

6. 注意事項および制限事項
 ・負荷分散オプションはTotalFlow-R0 Baseと同じサーバへのインストールは行えません。
 ・「RICOH TotalFlow Report Operating Manager Conversion Service」サービスを
　使用している場合，本製品のインストールおよびアンインストールは，
　「RICOH TotalFlow Report Operating Manager Conversion Service」サービスを
　停止してから行ってください。
 ・インストール時に指定するインストール先のディレクトリはフルパスで
　128バイト以内のディレクトリパスを指定してください。
 ・インストールはインストール対象のPCに対し管理者権限(Administrator権限)のある
　OSユーザで行ってください。
 ・インストール先のディレクトリとしてデフォルトのディレクトリを指定した場合，
　サーバサービスの実行OSユーザの権限についてAdministrator以上の権限が必要となります。
 ・既に本製品をインストールして運用している場合，以下のことに注意してください。
　（ａ）運用中の実行環境を引き継ぐ場合
　　CD-ROM内のSetup.exeを起動し，修正インストールを行ってください。
　（ｂ）運用中の実行環境を初期化する場合
　　本製品のインストール前に，必ずアンインストールを行ってください。
　　また，実行時に作成されるファイルなどにより，ディレクトリやファイルが
　　アンインストールで削除されない場合がありますので，本製品のインストール
　　ディレクトリを削除してください。
 ・帳票変換アプリケーションとしてSVFを使用する際，使用するJavaのバージョンによって
　インストールまたは，修正インストール後，以下の作業が必要です。
　（ａ）Amazon Corretto 21を使用する場合
　　追加作業はありません。
　（ｂ）Oracle Java 21を使用する場合
　　CD-ROM内の「Extension-R01」ディレクトリ以下のlegacy¥1.21に格納されている
　　「BrmWRSVFReceiver.class」および「BrmWRSvf.jar」を
　　"負荷分散オプションインストールディレクトリ"¥binに上書きコピーしてください。
　（ｃ）Oracle Java 17を使用する場合
　　CD-ROM内の「Extension-R01」ディレクトリ以下のlegacy¥1.17に格納されている
　　「BrmWRSVFReceiver.class」および「BrmWRSvf.jar」を
　　"負荷分散オプションインストールディレクトリ"¥binに上書きコピーしてください。
　（ｄ）Oracle Java 11を使用する場合
　　CD-ROM内の「Extension-R01」ディレクトリ以下のlegacy¥1.11に格納されている
　　「BrmWRSVFReceiver.class」および「BrmWRSvf.jar」を
　　"負荷分散オプションインストールディレクトリ"¥binに上書きコピーしてください。
　（ｅ）Oracle Java 1.8を使用する場合
　　CD-ROM内の「Extension-R01」ディレクトリ以下のlegacy¥1.8に格納されている
　　「BrmWRSVFReceiver.class」および「BrmWRSvf.jar」を
　　"負荷分散オプションインストールディレクトリ"¥binに上書きコピーしてください。
 ・その他，TotalFlow-R0を使用する上での注意事項および制限事項については
　「RICOH TotalFlow Report Operating Manager 取扱説明書（解説編）」の
　「付録D 注意事項および制限事項」を参照してください。

---

7. 本バージョンへのバージョンアップについて

7.1 バージョンアップ方法

最新バージョンへバージョンアップを行う場合は以下の手順で行ってください。

① TotalFlow Report Operating Manager Extension-R01の
インストーラCD-ROM中の setup.exe を実行してください。

② 表示されたインストーラの画面で「修正(E)」を選択し「次へ(N)>」を
クリックします。

7.2 バージョンアップ時の注意事項

(1) バージョンアップ時は管理者権限にて実施してください。

(2) バージョンアップ時の初期設定パラメタファイルについてはバージョンアップ前に
設定したパラメタから更新を行いません。

(3) バージョンアップにより，新たに追加された機能を使用する場合，初期設定パラメタの
指定の追加が必要となる場合があります。上記の手順でバージョンアップ後，
対象となるパラメタを手動で追加してください。
また，以下の通りのファイル名で最新の形式の初期設定パラメタファイルがインストール
されておりますので，設定を行う際は参考にしてください。
負荷分散オプション：　　bpssrm_serv.ini.org

(4) バージョンアップ後の環境からのダウングレードについてはサポートしておりません。

(5) 1.0.2，または1.0.3からのバージョンアップでログ採取ツールの削除が必要な場合は，
バージョンアップ前に以下の手順で削除してください。

① インストーラを使用して削除する場合
1.0.2，または1.0.3のインストーラを使用して，以下のプログラムをアンインストール
してください。
・[RICOH TotalFlow ReportOperating Manager - Extension-R01]
アンインストール完了後に目的のバージョンのインストールを実施してください。

② 手動による削除をする場合
・インストールディレクトリ下にある[RoLogOut]フォルダーを削除する。
・以下のパスのレジストリを削除する。※削除する前に必ずバックアップを取得して
おいてください。
HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥RICOH-PP¥RO¥RoLogOut
(64bit OSの場合：HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥WOW6432Node¥RICOH-PP¥RO¥RoLogOut)
・[スタート]メニューから[ファイル名を指定して実行]を選択し，[名前]に
「Shell:Common Programs」を入力し，[OK]を選択してください。
表示されたエクスプローラから[RICOH TotalFlow Report Operating Manager]の
フォルダを開き，[ログ採取ツール]を削除する。

その他，インストールに関する注意事項および制限事項については
「RICOH TotalFlow Report Operating Manager 取扱説明書（解説編）」の
「付録D 注意事項および制限事項」を参照してください。

---

8. オープンソースライセンスについて

本ソフトウェアの中には弊社の著作物でないものが含まれます。
詳しくは，メディアの中の¥OSSフォルダーを参照してください。

－以上－